

科目名	デザイン研修2							年度	2026
英語科目名	Design Study 2							学期	通年
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	大山敏弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー		
【科目の目的】 研修を通じて、デザイナーとしての視野を広げる。									
【科目の概要】 学校・カレッジ・学科が実施計画したデザイン研修内容が発表されたのち、オリエンテーションを実施。その後担任へ参加申込を行うというプロセスを経て、説明会及び勉強会に参加後、デザイン研修に参加する。研修を行う地域(国)および実施概要は、オリエンテーション時に詳細を伝える。									
【到達目標】 訪問する地域・施設・文化の中で行われる見学や交流プログラム、制作体験などを通じて、業界で必要な言語や地域を越えてのデザインの役割やコミュニケーションの大切さを習得する。 A. 知識力/研修先の地域や文化の知識を習得する B. 遂行力/研修までのスケジュール管理ができるようになる C. 社会性/主体的に参加し、グループ行動における役割を見出すことができる									
【授業の注意点】 参加希望を保護者同意のうえ、決定したら申込期日までに申し込むこと。事前研修への参加もすること。終了後は速やかにレポート提出をすること。研修期間中は集団行動のルールを守ること。現地で体験したことを記録する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	研修先の地域や文化の知識を十分に理解している		研修先の地域や文化の知識を理解している					研修先の地域や文化の知識を理解していない	
到達目標 B	研修までのスケジュールを十分に管理し、目標を立てて行動を続けることができる		研修までのスケジュールを管理し、目標を立てて行動をすることができる					研修までのスケジュール管理や目標を立てて行動をすることができない	
到達目標 C	研修に主体的に参加し、グループ行動において率先して行動をすることができる		研修に参加し、グループ行動において迷惑を掛けずに行動をすることができる					研修に参加できず、グループ行動において周囲に迷惑をかけてしまう	
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 特になし									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 レポート60% 授業内容の理解度を確認するために実施する。 平常点40% 授業内容の理解度を確認するために実施する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デザイン研修 2			年度	2026
英語表記		Design Study 2			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事前説明会	研修の内容について	1 研修内容	研修内容について理解する	2	
			2 締切	申込等の締切について理解する		
2	事前勉強会1	事前勉強会1	1 スケジュール管理	研修までのスケジュールを管理することができる	2	
			2 コミュニケーション	グループでのコミュニケーションを取ることができる		
3	事前勉強会2	事前勉強会2	1 スケジュール管理	研修までのスケジュールを管理することができる	2	
			2 コミュニケーション	グループでのコミュニケーションを取ることができる		
4	研修1	研修1	1 感動	研修を通して未知の感動を経験する	2	
			2 視野を広げる	研修を通してデザイナーとしての視野を広げることができる		
			3 グループ行動	グループの中での役割を見出すことができる		
5	研修2	研修2	1 感動	研修を通して未知の感動を経験する	2	
			2 視野を広げる	研修を通してデザイナーとしての視野を広げることができる		
			3 振り返り	レポートを提出する		
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等